

①学習課題（中学校2年生）

【数学】

<内容>

連立方程式を解く方法を考えよう②（教科書 P45）

～ハンバーガー1個とジュース1個の値段は、それぞれいくらになるだろうか～

<取り組み方>

- ① ある店で、ハンバーガー1個とジュース3個を買うと700円、ハンバーガー2個とジュース1個を買うと600円です。ハンバーガー1個とジュース1個の値段は、それぞれいくらになるか考え、「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。（家の人に説明してもよい。）
- ② ハンバーガー1個の値段を x 円、ジュース1個の値段を y 円として、連立方程式をつくり、解いてみよう。
- ③ ②の連立方程式を、②で消去した文字とは違う文字を消去して解いてみよう。
- ④ ②の連立方程式を解くとき、 x 、 y のどちらを先に消去して解いた方が楽に解けるかな。自分の考えを「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよい。）

見通しをもって効率よく解く方法を選択できると、連立方程式が解きやすくなるよ。

<学習のヒント>

- ① 教科書 P45 を参考に、図で表してみよう。2つの図を見比べてみると、ハンバーガー1個分とジュース2個分の違いが合計金額100円の違いになっているね。前回の課題のように、このまま見比べて計算しても、ハンバーガー1個の値段、もしくは、ジュース1個の値段を求めることはできないね。
ハンバーガーの個数をそろえるためには、1つ目の組み合わせを2セット買うといいね。
ジュースの個数をそろえるためには、2つ目の組み合わせを3セット買うといいね。
- ② 連立方程式をつくと、教科書 P48 の例2のようになります。①で考えたように、どちらかの文字を消去するために、一方の式の両辺を何倍かして、消去する文字の係数の絶対値をそろえよう。1年生で学習した等式の性質の考えを利用しているね。
- ③ ②で、1つ目の式の両辺を2倍にして x を消去して解いた人は、③では、 y を消去して解いてみよう。
- ④ どちらで解いても、答えは同じです。どちらの方法がやりやすかったか、どうしてやりやすかったのか考えてみよう。